

大腸CT検査の流れ

① 検査前

検査前日から検査当日の朝にかけて
検査食や**腸管洗浄液**、
大腸CT用造影剤、**下剤**を服用してい
ただき、腸をきれいにします。



② 注射

検査着に着替えてCT室に入り、腸の動きを
抑えるために**筋肉注射**をします。

③ 炭酸ガスの注入・撮影

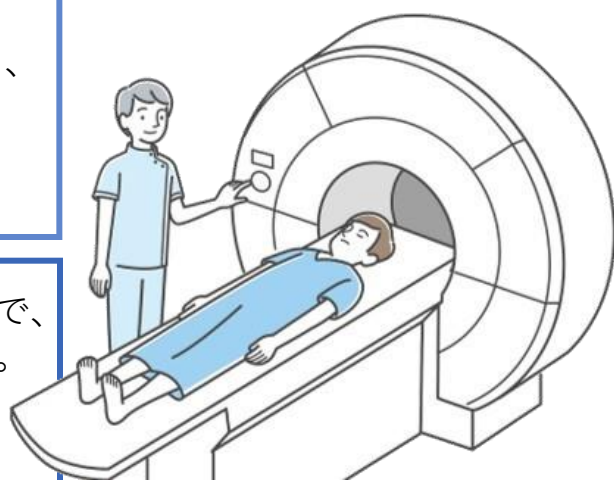
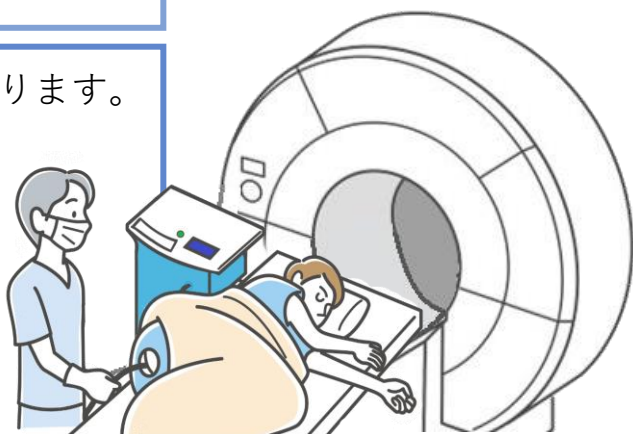
検査台に体の左を下にして横になります。
肛門からチューブを数cm挿入し、
大腸に**炭酸ガス**を注入します。
十分に炭酸ガスが入った状態で
撮影に移ります。

撮影中は合図にあわせて、
息を吐いて止めてください。
止めておく時間は**10秒**前後です。
仰向けの撮影が終了後、
うつ伏せでの撮影をします。
画像の確認が終わり次第チューブを外し、
脱気を開始します。

撮影は約**10分**ほどで終わります。

④ 検査終了

先にチューブを入れたまま脱気しますので、
炭酸ガスの不快感はすぐに解消されます。
少しゆっくりしていただいて、
気分不良がなければ検査終了です。



※下剤の影響で、検査当日は夕方前後までお腹がゆるくなる場合があります。



公益財団法人

佐賀県**健康**づくり財団

☎ 0952-37-3313

電話対応時間 8:30~16:30 (土日祝日を除く)